

令和6年度 決算状況				人口	令和2年度 平成27年度 調 増 減 率	68,421 64,753 5.7%	人 人 %	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	70,900 69,425 0.3%	人 人 %	産 業 構 造	都道府県名	団体名	市町村類型	II-3	
				面積	令和2年度 平成27年度 調 増 減 率	35.71 1,916 0.3%	km 人 %	08	2244	茨城県	守谷市	地方交付税種地	2-7					
歳入の状況 (単位: 千円・%)																		
区分	決算額	構成比	通常一般財源等	構成比														
地方交付税	12,441,394	31.6	11,623,277	77.0														
地方譲与税	204,883	0.5	204,883	1.4														
地方債	5,421	0.0	5,421	0.0														
配当金	109,712	0.3	109,712	0.7														
株式等譲渡所得	152,970	0.4	152,970	1.0														
分離課税所得	-	-	-	-														
地方消費税	1,693,241	4.3	1,693,241	11.2														
ゴルフ場利用税	-	-	-	-														
自動車取得税	-	-	-	-														
軽油引取税	23,755	0.1	23,755	0.2														
自動車環境性能割	154,410	0.4	154,410	1.0														
法人事業税	439,618	1.1	439,618	2.9														
地方特例交付金等	83,803	0.2	83,803	0.6														
内住借入金等特別税額控除減収補填特例交付金	353,664	0.9	353,664	2.3														
定額減税減収補填特例交付金	2,151	0.0	2,151	0.0														
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	810,344	2.1	825,570	4.1														
地方債	625,570	1.6	625,570	4.1														
内普通交付税	184,640	0.5	-	-														
特別交付税	134	0.0	-	-														
酒類・炭火復元特別交付税	16,035,748	40.7	15,032,857	99.6														
(一) 通常一般財源計	7,496	0.0	7,496	0.0														
交通安全対策特別交付金	83,213	0.2	16	0.0														
分担金・負担金	313,432	0.8	39,141	0.3														
使手庫	30,966	0.1	815	0.0														
国庫支出金	5,639,874	14.3	-	-														
国特提財交付金	-	-	-	-														
(特別区財調交付金)	1,983,180	5.0	-	-														
都道府県支出金	275,832	0.7	4,983	0.0														
財産	7,046,314	17.9	-	-														
寄附	4,092,611	10.4	-	-														
繰越	1,083,221	2.7	-	-														
諸取	574,462	1.5	5,697	0.0														
地方債	2,231,753	5.7	-	-														
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-														
うち臨時財政対策債	22,753	0.1	-	-														
歳入合計	39,398,102	100.0	15,091,005	100.0														
性質別歳入の状況 (単位: 千円・%)				目的別歳入の状況 (単位: 千円・%)				区分				令和6年度(千円)	令和5年度(千円)					
区分	決算額	構成比	通常一般財源等	構成比	通常取支比率	区分	決算額	構成比	(A)のうち	(A)のうち	基準財政収入額	基準財政収入額						
人件費	4,243,544	11.6	3,775,078	3,727,785	24.7	一般会費	201,531	0.5	普通建設事業費	201,531	10,896,065	10,645,821						
うち職員給与	2,486,765	6.8	2,126,480	-	-	総務費	11,415,007	31.1	209,070	2,444,011	11,521,635	11,057,578						
扶助費	8,145,619	22.2	2,596,443	1,802,955	11.9	衛生費	12,020,207	32.8	6,928	5,693,494	14,002,460	13,665,646						
公債	1,069,943	2.9	1,069,691	1,069,691	7.1	民生費	1,678,682	4.6	1,400	1,580,431	14,650,783	14,111,731						
元利償還金	996,853	2.7	996,601	996,601	6.6	労働費	50	0.0	-	50	0.96	0.96						
元一時借入金	73,090	0.2	73,090	73,090	0.5	農林水産業費	229,980	0.6	2,529	158,623	11.9	16.2						
(義務的経費計)	13,459,106	36.7	7,441,212	6,600,431	43.7	商工費	57,854	0.2	-	52,625	5.5	5.9						
物件費	6,566,224	17.9	3,807,307	3,423,368	22.7	土木費	3,676,505	10.0	1,804,981	1,657,805	4.0	4.4						
維持補修費	371,127	1.0	205,740	205,740	1.4	消防費	1,451,244	4.0	159,983	1,299,717	-	-						
補助費等	6,991,766	19.1	2,950,523	2,530,700	16.7	教育費	4,871,375	13.3	1,913,302	2,408,763	4.0	4.4						
うち一部事務組合負担金	2,113,699	5.8	2,113,699	2,113,699	14.0	災害復旧費	-	-	-	-	5,267,868	4,541,157						
繰出金	1,853,588	5.1	1,592,258	1,562,761	10.3	公債	1,069,943	2.9	-	1,069,691	1,823	1,822						
繰立金	3,327,374	9.1	63,116	-	-	諸支出金	-	-	-	-	5,868,721	5,273,654						
投資・出資金・貸付金	5,000	0.0	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	15,318,571	14,083,670						
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	歳入合計	36,672,378	100.0	4,098,193	16,566,741	20,633	20,633						
投資	4,098,193	11.2	506,585	14,323,000	94.8%	国民健康保険	343,027	0.9	1,510,561	1,510,561	6,361,629	8,066,406						
うち人件費	24,339	0.1	24,339	24,339	0.1	国民健康保険	1,510,561	4.1	-	-	-	-						
うち建設事業費	4,098,193	11.2	506,585	506,585	1.4	国民健康保険	-	-	-	-	-	-						
うち補助費	2,561,464	7.0	39,706	39,706	0.1	国民健康保険	-	-	-	-	-	-						
うち補助費	1,536,729	4.2	466,879	466,879	0.1	国民健康保険	-	-	-	-	-	-						
災害復旧事業費	-	-	-	-	-	国民健康保険	-	-	-	-	-	-						
失業対策事業費	-	-	-	-	-	国民健康保険	-	-	-	-	-	-						
歳入合計	36,672,378	100.0	16,566,741	16,566,741	45.2	国民健康保険	-	-	-	-	99.5	99.1						
												99.4	98.8					
												99.7	99.3					
												99.6	99.2					

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には委託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び委託事業費のうちの単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に基載されている人口に基づいている。
5. 面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)